“ふるさとちば”のための政策推進を

木村てつや県議会リポート

発　行／自由民主党千葉県議会議員会　〒260-0855　千葉市中央区市場町2番13号　電 話 043(227)7411

人口減少時代の経済政策を提起!

「産業」は「人づくり」が根幹

海外移転で産業空洞化を懸念

県議会一般質問から

昨年4月の県議選で初当選した船橋市選挙区選出の自民党・木村哲也(きむら・てつや)県議は、昨年の9月議会に続いて2月議会でも一般質問に登壇し、新人議員らしからぬ活発な議会活動を展開しています。木村県議は、人口減少時代を迎えて、県内経済の活性化に向けた産業施策の基本方針を質問したほか、「道徳教育」については、「文武両道の精神」を強調し、県教育長に対し、「道(どう)」の概念をただすなど、真正面から議論を挑みました。千葉県の新年度予算の概要と合わせて報告します。

本会議場の壇上から一般質問を行う木村哲也県議

木村議員　人口減少時代を迎えて、昨年9月議会の一般質問でも取り上げましたが、今回は、「産業」とその根幹である「人づくり」について質問したいと思います。

長引くデフレ経済の下、円高の進行や震災の影響などにより、県内経済の空洞化が進んでいます。また、将来、海外移転を予定する空洞化予備軍もいる中で、昨年はどのくらいの企業が倒産したのか。また、企業の県外、海外移転の動きを、県はどのように捉えているのか。

商工労働部長　民間の調査機関によりますと、県内の負債総額1千万円以上の倒産は、ここ数年4百件程度で推移していましたが、昨年は347件と減少しています。

また、企業の移転については、電力不足の影響、企業製造拠点の集約、円高や海外における需要の増加などを要因とする動きがみられます。グローバル化する企業間競争を生き残っていくためには、必要なことと考えますが、雇用の確保など、地域経済にとって重要な問題だと認識しています。

県外転出は過去最多

民間調査機関の帝国データバンクの調査によると、千葉県内の「転入転出企業」の昨年の集計では、県内への転入が170社で、県外への転出は122社という結果でした。しかし、転入企業数は、過去10年間で最も少なく、逆に転出は過去最多でした。

転出移転先のトップは東京都で、転入してきた企業が、都心に回帰している傾向が強いと分析されています。地域別に見ると、過去10年間の転入超過では、船橋市が86社増で県内トップです。昨年は22社が船橋市へ移転しており、千葉市の29社に次いで転入数が多かったとされています。

外国企業の誘致も

木村議員　人口が減少する中、企業誘致についても世界に目を向け、海外の成長企業を誘致していく必要性を感じておりますので、千葉県も特区の研究をしていきながら、手を挙げることも検討できないか。

商工労働部長　成田国際空港を有する本県の優位性を生かした海外企業の誘致に取り組むため、外資系企業の相談窓口である「ちば投資サポートセンター」を設置するなど、日本貿易振興機構(ジェトロ)と連携した誘致活動などを行なっているところです。海外企業の立地は、税収や雇用の増加により地域経済の活性化に資するなど、経済振興に重要だと考えています。

今後、海外企業の立地を一層促進するため、国際総合戦略特区制度の活用についても研究してまいります。

木村てつや県議プロフィル

○経　歴○

- 昭和44年7月　船橋市行田町生まれ　42歳
  西船幼稚園、塚田小、千葉日本大学第1中、千葉敬愛高、千葉工業大学工業経営学科卒、中央工学校建設設計課(建築専門校)卒、法政大学大学院政策科学研究科修士課程修了
- 平成10年　元衆議院議長･田村元のもとで私設秘書として政治を学ぶ
- 平成11年　船橋市議選初当選
- 平成15年　同市議選再選
- 平成19年　同市議選3選
- 平成23年　千葉県議選初当選

○現　職○

- **県　議　会**　健康福祉常任委員会委員
- **自民党県連**　政務調査会委員

地方からの政治創新!

●県政や船橋市について、お気軽にご相談ください。

木村てつや県議事務所

〒273-0011 船橋市湊町1-2-21-201

TEL.047-433-3088 FAX.047-432-7273

携帯ホームページもご利用ください。

質問の映像はホームページでご覧になれます。… 木村てつや 検索 http://www6.ocn.ne.jp/~tetuya/

「道徳」教育めぐり教育長と議論

文武両道の精神を教育の場へ！

県議会自席から再質問する木村哲也県議

木村議員 私の考える「道徳教育」「親学」とは、高い教育費を払って他人に教育を任せるのではなく、「命の大切さ」「生まれてきた理由」「人生の価値観」など、教育の原点たる人類の知恵を子どもたちに継承していく責務を果たすことが親の役目であり、「人の悲しみを理解すること」「親・先生・年上に敬意を払う」など、幼少時からの徹底した「道徳教育」の必要性を感じているものであります。

また、それを習得するには「文武両道の精神」が重要と考えます。武道を重要と感じ、積極的に取り入れてほしいと願う者として、教育界ではなぜ武道が体育の一環として必修なのか。

教育長は、道徳の「道」の概念をどう考えているのか。また、武道の位置づけは球技やダンスと同じ位置づけなのか。その概念をお伺いしたい。

教育長 平成18年に改正された教育基本法で、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできたわが国と郷土を愛する態度を養うことが、教育の目標として明記され、体育科では、わが国の伝統的なスポーツである武道を中学校で必修化し、伝統的な考え方や行動の仕方についても学習させることが重視されていると理解しています。

「道徳」という語は、中国の古典にその源があるようで、道徳の「道（どう）」とは、人間として踏み行なうべきことであり、「人の守るべき物事の道筋」とか、「世の人が従うべき大切な生き方」のことを意味することから、わが国において、は、「道」という概念が、さまざまな分野の人々の生き方を指し示すことも多いと承知しております。

警察行政で要望
街ぐるみで犯罪防止を

要望1

木村議員 振り込め詐欺は、振り込め詐欺・悪質商法被害抑止コールセンターからの注意喚起の電話をするだけではなかなか撲滅につながりません。家族ぐるみ、街ぐるみで防止策を考えなければいけません。自分の家に1本も電話を入れないという風潮も被害を増やしていく原因でもあります。

コールセンターで被害に遭いやすい高齢者の方々だけに訴える問題ではないと思います。これは地域活動や地域の防犯活動でもしっかり周知していきたいと思いますので、行政の協力をお願いします。

要望2

木村議員 交番の設置は非常に難しいということが市民に周知されてきましたが、未だに要望が絶えません。船橋市高野台には、町会が用意した交番用地があり、設置を20年間要望していますが、未だに建設されていない状況があります。

現在は、交番の設置から移動交番にシフトしたことから、町会で準備したところには優先的に移動交番を配置することを要望します。

県道の4車線化

木村議員 県道船橋我孫子線の船橋市域の4車線化整備について、どのように考えているのか。

県土整備部長 同路線は船橋市域で慢性的な交通渋滞が発生しているところで、特に渋滞が著しい中野木交差点から順次整備を行い、平成23年4月までに国道357号若松交差点から駿河台交差点までの2・7キロは4車線化が完了したところです。

駿河台交差点及び以北の4車線化整備は、今後、谷津船橋インターチェンジの進捗や周辺の開発状況を踏まえ、計画の具体化に向け調査してまいります。平成24年度は、4車線化の計画の具体化に向け、交通動向を把握するため、駿河台交差点など主要な交差点で交通量調査を実施する予定です。

市議会の方々と（仮）谷津・船橋インター視察する木村県議

新年度県予算の主な内容

平成24年度は、千葉県の総合計画「輝け！ちば元気プラン」実施計画の総仕上げの年であり、一般会計当初予算は総額で1兆6000億円余りとなり、過去最大規模となりました。主な予算項目をご報告します。

▼安全・安心のまちづくり

○移動交番車配車事業 犯罪の多発する地域へ移動交番車12台を追加配備し、全部で50台、専従警察官100人体制で治安向上を図る。予算額1億5千2百万円。

○地域安全パトロール事業 ひったくりなどの街頭犯罪防止のため、地域安全パトロール隊を20警察署に配置。3億9千万円。

○県立学校耐震化推進事業 予算額を倍増して、平成27年度末までに全ての県立学校の耐震化を完了。51億1千5百万円。

▼医療・福祉の充実

○医師・看護師の確保 修学資金の貸付などで必要な医師・看護師の確保と定着を図る。10億4千4百万円。

○がん対策関連事業 先端的放射線医療の機能強化や緩和ケア体制の充実。7億6千9百万円。

○特別養護老人ホーム建設事業補助 特養ホームの創設、増改築への経費助成。20億円。

▼東日本大震災への対応

○災害に強い元気な千葉県づくり 市町村・被災者への支援やインフラの復旧、災害の予防、放射性物質対策、新エネルギー対策などを推進。総額217億7千7百万円。

▼笑顔輝く子どもを育てる県づくり

○子ども医療費助成事業 今年12月から子ども医療費の助成を中学3年生まで拡大。59億2千9百万円。

○保育所の整備促進 国の補助金に加え、県独自に上乗せを行い、民間保育所の施設整備費を助成。44億3千9百万円。

○放課後児童健全育成事業 放課後児童クラブを実施する市町村の運営費および施設・設備等を助成。4億3千3百万円。

▼雇用・産業振興、交流基盤の整備

○新卒未就職者人材育成事業 基礎研修や職場実習等を行い、早期の就職を支援。7億5千6百万円。

○中小企業振興資金（融資枠の拡大） 融資資金の一部となる預託額を増額し、融資枠を5千7百億円に拡大。1千9百億円。

○「輝け!ちばの園芸」産地整備支援事業 県内園芸産地の生産力を強化拡大するため、施設整備や機械導入等への助成。3億円。

▼観光と魅力あふれる県づくり

○観光プロモーション事業 各季節に応じた観光PRを展開し、観光情報を積極的に発信。1億6千万円。

○千葉の魅力発信事業 千葉県の持つさまざまな魅力を発信し、農林水産物の販売等を促進。1億5千百万円

○ちばアクアマラソン開催事業 9千3百万円。

HPもご覧下さい。… 検索 ちば自民党 → 議員リスト → 県議会議員 → 船橋市